PTA広報誌
鹿児島中央

発　行
鹿児島中央高等学校PTA
TEL226-1574
発行責任者
PTA会長　市來大作
印　刷
あすなろ印刷

三綱領　自主　好学　敬愛

校是の由来

三綱領は、柳直一初代校長が定めたものである。三綱領の「自主」・「好学」・「敬愛」は、明治維初期の三人の偉人が重んじた精神、すなわち福沢諭吉の「自主独立」、吉田松陰の「好学愛知」、西郷隆盛の「敬天愛人」からとったものである。

「あいさつ」

ＰＴＡ会長　市來　大作

久しぶりに母校に行く機会に恵まれた。

「こんにちは。」玄関ですれ違う何名かの生徒達が私に元気な声を掛ける。なんだか少し、嬉しい気分になった。

「最近の若い者は」とかいつの時代も言われる事なのだろうが、それにしても近年、人に挨拶が出来ない人や、お礼の言えない人が多すぎる様に思う。社会で生きていく為の道徳観が欠如している人が多くなったのが原因かもしれない。現代社会が失ってしまった一番大事なものがこの道徳観であるように私は思う。改めて学校や家庭で生徒達と語ってみては如何だろうか。

生徒達と共に私たちも精進していきたいものです。

「孤独の効用」

校長　杉元　羊一

大学二、三年の三月の休みに、四国・北陸方面へ約十日間、不完全ながらもヒッチハイクの一人旅をしました。

唯我独尊的な高校生活から一転、地元の大学に進学した私は、サークルや社会人クラブに属し、奉仕活動に参加したり、ラグビーに目覚めたりと充実した日々を過ごしていました。しかし、末っ子で、かつ狭い地域の中しか知らない自分の育ちが、成長の妨げになっていないかと、時折不安に感じていました。

そのことが動機の一人旅で、旅とは名ばかりの苦行でしたが、等身大の自分に出会えました。孤独は、青春に不可欠の尊いものであったと改めて思います。

第五十二回入学式

四月八日（火）おだやかな春の日差しのもと、第五十二回入学式が行われました。新入生三百十九名が鹿児島中央高等学校生として迎え入れられました。

式の中で「校歌」、愛好歌「たいせつ」の歌声に、新入生保護者共に、中央生となった喜びと希望で胸一杯になりました。

これからの三年間、入学の感激を忘れずに子どもたちが級友と充実した日々を過ごせることを願います。

平成二十六年度PTA総会開催

五月十五日（木）多くの会員の方々に出席していただき、平成二十六年度PTA総会が開催されました。

会務報告、決算、予算等の協議や新執行部役員の承認など新年度に向けての体制も整い、本年度のスタートがきられました。

学校からの近況報告などの後、「ネット社会の現状と課題解決のための取組」と題して、携帯・スマートフォン等に関する講演会を行いました。多くの保護者の方々に出席していただき、有意義な会になりました。

原点に立ち戻ろう

教頭　二石　政彦

五月中旬から各中学校で高校説明会をしていますが、導入で、加治屋町出身の偉人たちと、柳直一初代校長の本校設立時の熱き思いを、中三生やその保護者に話します。

半世紀が経過した今、中央生こそ原点に立ち戻り、高校入学は通過点・高校生活は修行と考えて、大志を忘れず、好奇心と想像力を持ちながら、日々の地道な努力を楽しんでほしいと思っています。

中玉戦の固結力、生徒総会での建設的な発言、高校総体での活躍などを拝見して、中央生にはさらなる爆発的パワーがあると確信しています。

珊瑚樹

変わらぬ学び舎

教諭　中島　靖治

御厚を賜り、約二十年ぶり、二度目の鹿児島中央高校勤務です。創立三十周年記念式典で「もはや新設校ではない。伝統校だ。」と語った生徒会長の姿が思い出されます。

当時、最寄駅は西鹿児島駅、生徒指導上の話題はポケベル、修学旅行で訪れた上海は、映画「三丁目の夕日」を思わせる姿でした。

隔世の感あり。しかし、軋む廊下、にぎやかな笑い声、慌ただしくも活気に満ちた一日に変わりはなく、生徒たちが垣間見せる自信や不安、悩みや葛藤の表情もまた、同じです。若者が濃密な成長の時を過ごす本校が変わらずにあります。あらためて、お世話になります。

おじゃします

今回は部活動のキャプテンに質問してみました。

①　部長で大変だったこと
②　自分の部活の良さ
③　後輩に伝えたいこと
④　顧問の先生に一言

剣道部

①　部員の心をまとめることでした。練習時の声などどうすればよくなろか自問自答する日々でした。

②　めりはりがあり、皆が和気藹々と活動できている所です。

③　今度こそインターハイに行ってくれ。

④　「前に出らんかあ」と容赦なく大きな声で指導してくださる西先生。全員が思わず背筋が伸び気合いが入りました。大変なことから大切なことを西先生をはじめ、教頭先生の二石先生、加藤先生に学ばせていただきました。本当にありがとうございました。

サッカー部

①　キャプテンをしていて大変だったことは、チームを一つにまとめることでした。サッカー部は人数が多いので、とくに苦労しました。

②　サッカー部の良い所は、感謝の気持ちをもってプレーできることだと思います。支えてくれている方々の為にも頑張ろうという意識を大事にしていました。

③　後輩には、私立撃破、そして県大会優勝を目標に頑張って欲しいです。

④　瀬戸川先生、谷口先生、板木先生、北迫先生、西先生、重吉先生のご指導のおかげで、成長することができました。二年間、本当にありがとうございました。

水泳部

①　部員が大会でベストが尽くせるような環境づくり。

②　個人競技だが、一人の力では勝てない団体競技である。六月の総体では、ニュースに取り上げられるほど鶴丸・甲南と一致団結の応援があった。仲間の喜びの涙が感動的だった。

③　自分の限界を決めない。そして何より仲間と楽しんで泳げ。まだまだ速くなる。九州だけでなく、全国へ羽ばたけ！

④　大浦先生・上畠先生・西中間先生そして川崎先生・當房先生ありがとうございました。ガオ先生、激辛ソース・大量のわさび食べさせてごめんなさい。早く素敵な奥さん見つけてください。部員全員の願いです。

ダンス部

①　部員数も多く振り作りから衣装作りまで、全て自分たちでするので、素早く的確に判断し、指示することが一番難しかった。

②　練習は地味で長いのに、本番はあっという間におわってしまうから、その一分一秒がとても大切に思えるし、仲間と踊る楽しさや一体感を実感できるところ。

③　ライバルとしても仲間としても、みんなで高め合ってすばらしいダンスになってほしい。

④　面高先生、富松先生、東先生、本当にありがとうございました。大好きです!!♡

ラグビー部

①　特にない。

②　ラグビーは、やったら本当に楽しいスポーツ。一年生の皆さん、他の部活に入るのもいいけど、ラグビーというスポーツに興味をもってほしい　絶対楽しいから。

③　二人で大変だと思う。でも、やめないで頑張ってほしい。頑張ればいい事があるはず。いつでも笑って、声を出して頑張れ。

④　森園先生、川元先生、永盛先生ありがとうございました。とても、充実した部活でした。めっちゃたのしかったです。

放送部

①　学校行事のたびに様々な部活動の方々や先生方と連絡をとることは大変でしたが、やりがいがありました。

②　番組製作では産みの苦しみを、アナウンス、朗読では度胸を、そして最高の仲間から永遠の友情を学べる素敵な部活です。

③　締め切り、校内放送、忘れないで！部屋を大きなトロフィーとカップでいっぱいにしてね。期待しているよ。

④　アナウンスや番組を熱心に指導していただき、本当にありがとうございました。これからも後輩たちをよろしくお願いします。

音楽部

①　個性的な部員をまとめ、気持ちの揃った演奏をすることです。それができた時は、感動的です。

②　やる時はやる、そして大人数でもとても仲の良いところです。家族のような存在です。

③　音楽部は様々な面で大変なことがたくさんあると思いますが、みんなで協力して頑張ってください。これからの活躍を期待しています。

④　これまで練習量も部員も多い私たちを支えてくださり、本当にありがとうございました。小倉先生から教わった事、音楽部で学んだたくさんの事をずっと忘れません。

男子ハンドボール部

私が男子ハンドボール部の部長をしていて大変だったことは、部員の気持ちの面をひとつにすることだったと思います。何か乗り越えては新たな目標を立て気持ちを切らさずに毎日頑張るの繰り返しでした。おかげでたくさん鍛えられました。

女子ハンドボール部

私が女子の部長を努めて大変だったことは、部員の気持ちの面をひとつにすることだったと思います。何か乗り越えては新たな目標を立て気持ちを切らさずに毎日頑張るの繰り返しでした。おかげでたくさん鍛えられました。

弓道部

①　部員をまとめて集中した雰囲気の中で練習すること。

②　男女、先輩、後輩問わず、仲の良いところです。

③　練習に対して貪欲に！仲間を信頼してーあと、絶対にインターハイに行ってこい！

④　松崎先生、下津先生、引率ありがとうございました。

鳥居先生、先生の手腕で後輩たちを全体会入賞させてあげて下さい。よろしくお願いします。

担任紹介

① 家族構成 ③ 好きな芸能人
② 高校時代の部活 ④ クラスの印象

1－1 安樂 幸蔵

① プライベートは秘密です。
② バスケットボール部です。部活命でした。三年次は主将を務めました。県大会優勝が目標でしたが、残念ながら二位が最高成績でした。
④ 一の一は素直で明るいクラスです。巷ではおとなしいと言われているらしいですが、あまりそう感じたことはありません。

1－2 松﨑 久和

① 妻・娘の三人家族
④ 全体的に真面目で素直。人なつこくて無邪気な生徒が多い印象を受ける。

1－3 大浦 竜二

① 妻と長男（小二）の三人家族です
② 水泳部（専門はバタフライ）九州大会出場を目指し日々努力していました。
③ 唐沢寿明
④ 素直で明るい生徒の多いクラスです。何事にも果敢に挑戦してほしいです。

1－4 久保 めぐみ

① 独身、三姉妹の次女
② 帰宅部
④ 草食系男子とスポーツ苦手女子が多い。素直で優しい生徒集団。授業を受けることを最優先し、全員部に所属しよう！

1－5 脇田 弘隆

① 妻とやんちゃな男の子三人。
② 軟式庭球部。先輩がとても厳しかった。決戦の鹿児島市東開庭球場に一つ忘れ物をしてきました。
③ ビートたけし。
④ とても明るく、元気で仲良し。一人ひとりがそれぞれ目標に向かって努力していってほしい。

1－6 茶園 純二

① 妻一人です。
② 高校時代は野球部に所属していました。レギュラーになれず、悔しさなどいろいろな感情を持ちましたが、やっぱり自分にとって何ものにも代えがたい経験でした。

2－1 山口 悟

① 妻と一男一女の四人家族
② 柔道部
③ 池井戸潤のドラマをたまに見ています。
④ 明るく真面目で落ち着きがある。学問に対して更なる貪欲さを持とう。まだ見ぬ自分に気付くはず。

2－2 田代 浩二

① 妻 娘二人 四人家族
② バレーボール部
③ きゃりーぱみゅぱみゅ
④ 「バカっこいい」になるまでもう一息。

2－3 谷口 隼大

① 両親・姉二人
② サッカー部
③ 大泉洋・高田純次
④ 良い個性を持った生徒が集まっています。一人ひとりがその個性を集団の中で良い方向に発揮してくれればどこにも負けない力強いクラスになると期待しています あとは担任がもう少ししっかりすれば良いと思います。

2－4 永盛 光国

① 妻と娘
② 遠方からの通学だったため入っていませんでしたが、体育祭で怪我した陸上部員の代わりにリレーで走ったことがあります。

2－5 上赤 洋平

① 愛する妻と溺愛する娘
② けいおん
③ タモリ
④ 「生命力がクラスに満ち溢れている！」とても楽しい二年五組です。毎日元気をもらっています。

2－6 中堀 浩貴

① 妻・子ども三人・・長男四歳・長女二歳・次女0歳
② ソフトテニス。今以上に真っ黒でした。
③ 三遊亭円楽（六代目）・鈴木杏樹
④ 最初はおとなしく感じましたが、文化祭へ向けて団結してきたように思います。

2－7 日高 大祐

① 妻・息子
② 入っていませんでした。やっておけばよかったと後悔しています。
③ 大泉洋
④ おとなしい感じだなあ。

2－8 植村 諭

① 妻、娘の三人
③ 曽田茉莉江
④ 明るく元気なクラスです。

3－1 川崎 健朗

① 妻一人・長男・長女・次男
② ソフトボールと器械体操（鉄棒）を少々
③ 蒼井優
④ クラスは節度があり、何事にも一生懸命に取り組み伸びていく集団と感じます。

3－2 竹下 直史

① 妻と息子
② テニス部
③ 西島秀俊・黒谷友香
④ ほど良く明るい。三年生はここからが勝負！部活で学んだ諦めない気持ちを学習に活かしてほしい。

3－3 濵川 博司

① 妻と娘二人
③ 推しメンは前田敦子が卒業したのでばるるにして塩対応にドキドキしています…。
④ 「きっちりと」「しっかりと」「誠心誠意」「命をかけて」「まじめに」をモットーに何事にも努力をする生徒諸君と、「熱意をもって」「心から」「全身全霊で」「いっしょうけんめい」指導して下さる先生方との融合体です。

3－4 安留 光一

① 妻 長女（高一）長男（小二）
② していません。（成績が悪くて許してもらえなかった）
③ オードリー・ヘップバーン
④ おだやかな感じ。

3－5 板木 正一

① 妻一人（古典の中での、一夫多妻制、興味深いね）・娘（小三）・息子（小一）
② サッカー部（右ウイング、今はないね）
④ しっかり者の女子に、気遣いのできる男子でまとまった明るい印象。気張れよ!!

3－6 北原 義大

④ 個性的で道を究めたいと考えている生徒が集まっています。生徒自身が持つ可能性にお互い磨きをかけ、中央高校から巣立つときには「金と輝ける」（校歌より）よう、この場所で有意義な時間を過ごして欲しいです。

3－7 柳田 亜矢

① 夫、娘（中一）、息子（小二）
③ イ・ビョンホン
④ 明るくて、優しい生徒が多い。じっくり話をしたらいろいろな個性に出会えそうな潜在性も感じます。受験生に必要ながむしゃらさに欠けるのが担任として歯痒い日々です。

3－8 西 孝典

① 元気すぎる小学生が三匹います。
② サッカー部
③ 内村光良（ウッチャン）
④ 何事にも真剣に取り組む、友人思いの素直なメンバー

第52回 文化祭

三年学年主任

下津 健雅

3年生はクラスの枠を越えて、学年として団子・おにぎり・パンなどの販売、射的などを含め計10のブースを作って参加した。物品・食物の販売など初めての経験で、計画の段階からなかなか進まない厳しい状況であった。2週間前になって慌てて一気に取り組む形となり、準備や業者との交渉を進めるなかで生徒たちが積極的になっていく様子が見られた。当日は大きな声で呼び込みや多くの客に明るく笑顔で接し対応していたようだ。「疲れたけど充実した」など多くの声が聞かれた。学年で一致団結して取り組むことができ、一段と成長した3年生を頼もしく感じた。また、次のステージ（受験勉強）での3年生の活躍を期待したい。

第23回 中玉戦